

外国語教育メディア学会関西支部  
第6次基礎理論研究部会 第16回研究例会開催のご案内

部会長 藪内 智 (京都精華大学)

副部会長 里井久輝 (摂南大学)

1. 日時：2010年9月12日(日) 例会：13:30-17:00

\*プロジェクトの方は11:00より開始いたします。

\*時間厳守でお願い致します。

2. 場所：

【所在地】〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー14階  
関西学院大学大阪梅田キャンパス (K.G.ハブスクエア大阪)

【アクセス】 [http://www.kwansei.ac.jp/kg\\_hub/index.html](http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/index.html)

3. 内容：

1) 輪読 (22年度輪読本より)

担当：中野陽子 (関西学院大学)

Pawley, A. & Syder, H.F. (2000). The One-Clause-at-a-Time Hypothesis.

In Heidi Rigganbach (Ed.). *Perspectives on Fluency*, 163-191.

University of Michigan Press: Michigan.

2) 研究発表

担当：藪内智・平井愛 (京都精華大学)

題目：「日本人英語学習者の動詞下位範疇化情報の保持と利用—行動指標を通して見た動詞他動性情報の利用度—」

(敬称略)

以上、ご案内申し上げます。

事務局：平井愛、杉浦香織

連絡先：[oliver51twist@gmail.com](mailto:oliver51twist@gmail.com)